



独立行政法人理化学研究所 仁科加速器研究センター
第77回RIBF核物理セミナー
RIKEN Nishina Center for Accelerator Based Science
The 77th RIBF Nuclear Physics Seminar

X線天文衛星「すざく」による超新星残骸の観測

玉川 徹 氏 (理研 牧島宇宙放射線研究室)

2005年に打ち上げられた日本のX線天文衛星「すざく」による、若い超新星残骸観測の、最新の成果を紹介する。特に、全天で最も明るいティコの超新星残骸で発見した Cr と Mn の輝線、元素の膨張速度を観測したことによる立体構造の解明などについて話をする。超新星残骸は、衝撃波により加熱されたプラズマにより満たされており、X線はその元素合成や構造を調べるには最適な波長である。本セミナーでは、超新星残骸の構造や、X線観測により何がわかるのかを、非専門家にもわかりやすく説明するとともに、衛星に搭載されている観測機器や観測手法についても紹介する。

Jun. 9(Tue), 2009 15:30 -
RIBF Conf. Hall, RIKEN

The seminar will be given in Japanese.
Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer
seminar@ribf.riken.jp
<http://ribf.riken.jp/~seminar>